

日本てんかん学会 第7回近畿地方会プログラム

日 時：平成23年7月23日（土曜日）

*ランチョンセミナー 12時00分～12時50分

*近畿地方会 13時00分開始

*特別講演 17時30分～18時30分

会 場：京都大学芝蘭会館

（京都市左京区近衛町京都大学医学部構内）
TEL：075-753-9336

会 長：木下真幸子（独立行政国立病院機構 宇多野病院 神経内科）

ランチョン
セミナー：「てんかんの包括的診療」—NEWER AED から手術まで—
飯田 幸治 先生（広島大学大学院医歯薬学総合研究科 脳神経外科学 講師）

共催：大塚製薬株式会社・UCB ジャパン株式会社

特別講演：「新規抗てんかん薬の特徴と使い分け」

久保田英幹 先生（国立病院機構 静岡てんかん・神経医療センター）

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

受 付：11時から

参加費：4,000円（会員は年会費に該当します）。

発表方法：発表7分，討論3分です。発表時間を厳守してください。

演者が各自で持参したコンピュータ（WindowsまたはMacintosh）による発表で
お願いします。パソコンと液晶プロジェクターの接続はミニD-Sub15PinRGB ケー
ブルのみです。対応する表示解像度はXGA（1024×768）です。



京都大学芝蘭会館

〒606-8501

京都市左京区吉田近衛町京都大学医学部構内

TEL. 075-753-9336

FAX. 075-753-9457

アクセス

- 市バス「京大正門前」徒歩2分
- 京阪「出町柳駅」徒歩約15分（出口2・4番）

ランチョンセミナー

12:00 ~ 12:50

◆座長 貴島 晴彦 先生 (大阪大学医学系研究科 脳神経外科)

*共催: 大塚製薬株式会社・UCB ジャパン株式会社

「てんかんの包括的診療」— NEWER AED から手術まで —

飯田 幸治 先生

(広島大学大学院医歯薬学総合研究科 創生医科学専攻先進医療開発科学講座 脳神経外科学 講師)

開 会 木下 真幸子 会長

12:55 ~ 13:00

A) 基礎実験

13:00 ~ 13:20

◆座長 芹川 忠夫 先生 (京都大学大学院医学系研究科附属動物実験施設 医動物)

1. 全般性強直—間代発作モデル Noda epileptic rat におけるアストロサイト Kir4.1 チャンネルの病態解析

大阪薬科大学 薬品作用解析学 長尾 侑紀, 原田 悠耶, 奥田 葵, 藤本 恵,
大野 行弘
京都大学大学院医学研究科 附属動物実験施設 芹川 忠夫
渚クリニック 笹 征史

2. *Lgi1* 変異ラットの開発: 常染色体優性外側側頭葉てんかん (ADLTE) のモデル動物として

京都大学医学研究科 附属動物実験施設 石田紗恵子, 真下 知士, 麓 直浩,
Stephanie Baulac, 芹川 忠夫
同 臨床神経学 池田 昭夫, 麓 直浩, 高橋 良輔
CRICM, Hôpital de la Pitié-Salpêtrière, Paris Stephanie Baulac, Philippe Couarch
大阪府立大学大学院生命環境科学研究科獣医病理学 桑村 充

B) 病 因

13:20 ~ 13:40

◆座長 鈴木 保宏 先生 (大阪府立母子保健総合医療センター 小児神経内科)

3. 各々の徴候が軽微で診断が困難であった結節性硬化症の一例

宇多野病院 神経内科 中野 仁, 木下真幸子, 澤田 秀幸

4. CASK 異常症に発生したてんかんの臨床像

大阪医科大学附属病院 小児科 福井 美保, 島川 修一, 野村 昇平, 玉井 浩
大阪府立母子保健総合医療センター 遺伝診療科 岡本 伸彦
田辺・門林こどもクリニック 小児神経内科 田辺 卓也
市立枚方市民病院 小児科 柏木 充
大阪労災病院 小児科 吉川 聡介
済生会茨木病院 小児科 宮本 良平
清恵会病院 小児科 東川 幸嗣

C) 病 態

13:40 ~ 14:20

◆座 長 松本 理器 先生 (京都大学大学院医学系研究科 神経内科)

5. 左前頭葉てんかんによるけいれん重積後に、同側側頭葉内側部に新たなてんかん焦点を形成した1例

国立病院機構・奈良医療センター てんかんセンター

丸山 信之, 澤井 康子, 川田 和弘, 平林 秀裕,
星田 徹

6. 転倒発作を含め、多彩な発作症状をきたした頭頂葉てんかんの一例

京都大学大学院医学研究科 脳病態生理学講座 臨床神経学 (神経内科)

吉永 健二, 小林 勝哉, 矢嶋 諒, 松本 理器,
池田 昭夫, 高橋 良輔

京都大学大学院医学研究科 脳病態生理学講座 脳神経外科学

楊 涛, 山尾 幸広, 荒川 芳輝, 國枝 武治

7. 心因性痙攣の診断に運動関連脳電位が有用であった1例

住友病院 神経内科 當間圭一郎, 斎藤 聡, 武内 俊明, 沖 良祐,
武山 博文, 久堀 保, 西中 和人, 宇高不可思,
亀山 正邦

8. 皮質および脳幹網様体由来のミオクロームスの混在が示唆された急性期の低酸素脳症の一例

京都大学医学部附属病院 神経内科 石尾ゆきこ, 吉永 健二, 櫻井 健世, 小林 勝哉,
松本 理器, 高橋 良輔, 池田 昭夫

同 形成外科 高嶽 広章, 吉川 勝宇

同 検査部 鈴木加奈子, 富田由美子

D) 薬物 1

14:20 ~ 14:50

◆座 長 島川 修一 先生 (大阪医科大学附属病院 小児科)

9. ACTH療法不応例に対してラモトリギンが著効した West 症候群の1例

兵庫県立西宮病院 小児科 澤野 英樹, 倉橋 幸也, 岡山 智亮, 西海 直子,
村井竜太郎, 小泉 眞琴, 田中 真也, 安部 治郎

10. Topiramate 大量投与が有効であった症候性 West 症候群の一例

大阪市立総合医療センター 小児医療センター 小児神経内科

温井めぐみ, 川脇 壽, 堀野 朝子, 井上 岳司,
岡崎 伸, 富和 清隆

11. 劇症型心筋炎, 甲状腺機能異常を合併したラモトリギン薬剤性過敏症候群の女児例

大阪府立母子保健総合医療センター 小児神経科 平田 郁子, 松本 文博, 池田 妙, 鳥邊 泰久,
柳原 恵子, 真野 利之, 鈴木 保宏

休憩

14:50 ~ 15:10

総会

◆議長 木下 真幸子 先生

15:10 ~ 15:30

E) 薬物 2

15:30 ~ 16:10

◆座長 竹内 義博 先生 (滋賀医科大学 小児科)

12. 当科における難治てんかん患者に対するレベチラセタムの有効性の検討

京都大学医学部附属病院 小児科 吉田 健司, 粟屋 智就, 柴田 実, 加藤 竹雄,
平家 俊男

13. 当科におけるレベチラセタム使用経験例についての検討

大阪市立大学大学院医学研究科 発達小児医学 佐久間 悟, 匹田 典克, 藤川 詩織, 瀬戸 俊之,
田中 勝治, 松岡 収, 新宅 治夫
西宮すなご医療福祉センター 服部 英司
アネモネこどもクリニック 横井 俊明

14. 難治てんかんに対する Levetiracetam, Lamotrigine, Topiramate の使用経験

びわこ学園医療福祉センター草津 小田 望, 口分田政夫, 木内 正子, 永江 彰子,
阿部 純子, 種子島章男, 藤田 泰之, 高谷 清

15. トピラマートとラモトリギンが無効の難治性てんかんに対するレベチラセタムの有効性に関する検討

関西医科大学 小児科 古賀 智子, 荒木 敦, 金子 一成

F) 治療

16:10 ~ 16:40

◆座長 沖永 剛志 先生 (大阪大学医学系研究科 小児科)

16. ステロイドパルス治療が著効した Rasmussen 症候群の一例

静岡てんかん・神経医療センター 最上友紀子, 高橋 幸利, 福山 哲広, 高山留美子,
大谷 英之, 池田 浩子, 今井 克美, 重松 秀夫,
井上 有史
広島市民病院 小児科 板村 真司, 伊予田邦昭

17. 迷走神経刺激術療法の早期効果

近畿大学 医学部 脳神経外科 中野 直樹, 吉岡 宏真, 村上 沙織, 二宮 宏智,
加藤 天美
市立堺病院 脳神経外科 二宮 宏智

18. ケトン食療法中における体調不良時の対応

滋賀県立小児保健医療センター 小児科 野崎 章仁, 熊田 知浩, 宮嶋 智子, 斉藤 景子,
日衛嶋郁子, 藤井 達哉

G) 高齢者

16:40 ~ 17:00

◆座長 當間 圭一郎 先生 (財団法人 住友病院 神経内科)

19. 高齢者てんかんの診療上の課題について

おおたにクリニック 大谷 和正

20. 高齢てんかん症例に新規抗てんかん薬での加療が奏効した2例

市立堺病院 脳神経外科 二宮 宏智
近畿大学 脳神経外科 二宮 宏智, 加藤 天美
大阪大学 脳神経外科 貴島 晴彦, 吉峰 俊樹

H) 精神症状

17:00 ~ 17:20

◆座長 石井 良平 先生 (大阪大学大学院医学系研究科 神経科・精神科)

21. てんかんの発症後、不安障害を合併した症例について

和歌山県立医科大学 神経精神科 辻 富基美, 篠崎 和弘
同 神経内科 石口 宏

22. promnesia 様の症状を呈した側頭葉てんかん患者2例の検討

京都大学大学院医学研究科 神経内科 宇佐美清英, 池田 昭夫, 松本 理器, 高橋 良輔
京都きづ川病院 神経内科 笠井 祥子

休憩

17:20 ~ 17:30

特別講演

17:30 ~ 18:30

◆座長 木下 真幸子 先生 (独立行政国立病院機構 宇多野病院 神経内科)

*共催: グラクソ・スミスクライン株式会社

「新規抗てんかん薬の特徴と使い分け」

久保田 英幹 先生 (国立病院機構 静岡てんかん・神経医療センター)